

# やさしい孫ヘルプ

〈8〉

1998年の長野冬季五輪は「日の丸飛行隊」がラージヒルで大ジャンプを見せ国民を勇気づけた。続いて長野パラリンピック大会も開かれた。

私たちは地元団体に協力を仰ぎ、会場周辺のバリアフリー環境をチェックしようとして視察に入った。競技場はもちろん、周辺の鉄道、道路、ホテルにも伺い、大会までの整備計画などを教えてもらった。国際空港からの動線を確認し、観光施設なども対象にした。

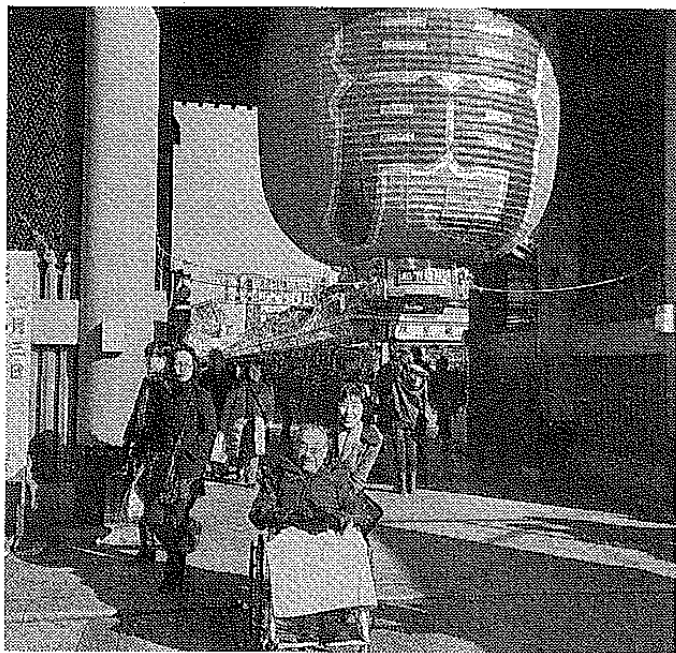
設置された。無機質な設備では興ざめたが、本堂と一体化して全く違和感がなかった。これができるなら大丈夫と感じたことを覚えておく。

なかなか整備が進まないバリアフリー環境も、イベントで進む観光地の改善

85段を担いで上げてくれる石段駕籠（かこ）がある。ちよつと値が張るが、足の弱い人が風情も楽しめるいいサービスだ。

寺社では墓参りも忘れてはならない生活文化で、そうした暮らしの伝承を体が不自由になっても行えるようサポートする仕組みが必要だ。

大震災で被災した東北だ



東京・浅草もバリアフリー化に熱心だ

れば安心できる。

今年5月、いよいよ東京スカイツリーが開業する。隅田川から見るツリーは格別で、屋形船や人力車との組み合わせも楽しい。モダンなデザインのリパークルーズもあり、浅草近辺は車いすを利用する人にも親切だ。

そうした社会資源を活用して、介護が必要になっても外出や旅を諦めずに楽しんでほしい。今年はロンドンでオリンピックとパラリンピックが開催される。日本からもトラベルヘルパーがアシストするが、開催後の整備が進んだ町を訪ねるのは楽しみだ。

(日本トラベルヘルパー協会理事 篠塚恭一)

## うまく利用して楽しんで

穂、伊勢神宮なども車いすで容易に行ける。四国の金馬羅さんには以前から、7

が、バリアフリーに熱心な観光地も多い。先日、仮設住宅に避難している方々を

福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズに案内する、しないにかかわらず、配慮のある設備や表示を見